



佃月島新聞 毎月の広告掲載サポーターの紹介
企業サポーター会社のHPへリンクしています。
グオン株式会社・Cheers株式会社・ハートベルカンパニー
株式会社・ジャストリサーチ株式会社・一般社団法人ココロ
ボ・株式会社グローバルケア・株式会社トラソル・株式会社
東京メンテナンス管理・ローズガーデン深川・
誠にありがとうございます。

発行：編集人 佃月島新聞制作委員会 佐久間保人
編集室 〒103-0014中央区日本橋蛸殻町1-5-1-3F ㈱ハートベルカンパニー内
電話：050-1746-8579 メール info@tsukutsuki.com HP tsukutsuki.com



つくつき
LINE公式アカウント開設

勝手につくつきアド街ック2021 ランキング発表

今月もつくつき電子版増大号 tsukutsuki.com ホームページ限定です

テレビ東京の人気番組アド街ック天国には、4回ほど取り上げられています。もうそろそろ5回目があるのでは？その前につくつきでは先をやってしまいました。2019年5月14号では、その後のアド街ックを特集しました。

電子版3月号でアンケートを募集をいたしました。電子版5月号で途中経過の発表、下位の4件への応援記事を掲載し、編集長が選んだ42件と途中で読者が選んだ3件を加えて投票を行いました。70名の読者の方にご協力をいただきました。

一位はやっぱり住吉例大祭。今年中止になりましたが圧倒的多数で佃島と住吉神社関係が一位と二位を獲得しました。つくつきホームページの連載企画集平成「平成30年住吉例大祭 追っかけ」取材に詳しく掲載されています。

三位 野島天国 佃・月島 河川に囲まれ、堤防沿いの公園も豊富なこの地域は、都心でもありませんが、自然に恵まれています。つくつき新聞の人気連載コラム執筆は佃二丁目藤田さん「佃月島で見られる野鳥図鑑」50回を超えます。佃に初

めて営業したカワセミやカエルガモ五組の親子の話題などをつくつき野鳥ページは盛り上がりつつあります。

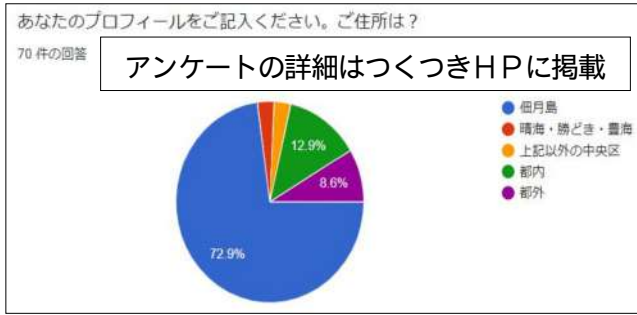
四位 地域コミュニケーション紙 つくつき佃月島新聞 ありがとうございます。2028票いただきました。2014年に創刊してもうすぐ8年目に入ります。読者の激励の第四位光栄でございます。精進します。

五位 リノベーション長屋 六位の月島式長屋と合わせる現実第二位になる長屋です。7月25日頃から発売になる「地域雑誌佃月島」第2号では、芝浦工業大学

学生の岩間さんのリノベーション長屋研究ノートが発表されています。

六位 西仲通り商店街・月島式長屋・佃リノベーション21・佃月島に架かる大橋 26票の大激戦でした。古い街と新しい街が混在する島、佃月島の魅力が溢れた第六位です。

十位以降は？ 西仲通りの老舗、路地、説教所、佃月島の渡し、銭湯と続きますが、意外と低位だったのが、「ももんじゃ」です。東京の観光地で食べ物で魅力つけ



をした唯一の街です。地域の方にはそんなに支持されていないのでしようか。もんじゃにプラスする街の魅力をPRして行かなければなりませんね。先日「つくつき歴史散歩」を開催しましたが、地域外の方にも大変喜んでいただけました。私はアンケート結果から「まち歩き」イベント開催と、思うのですが...

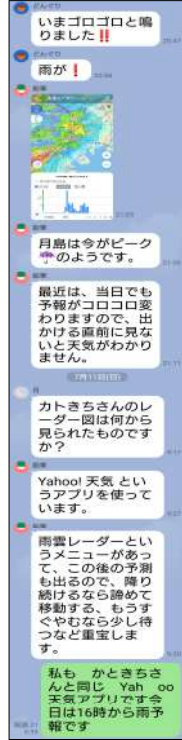
今回のアンケートで感じたのは皆さんのこの街を愛する気持ちです。今後も佃月島新聞は地域の話題を取り上げて行きたいと思えます。アンケートにご協力ありがとうございました。

LINEはスマホ活用の第一歩 LINEビデオからZOOMへ

R65月島カフェの オンライン開催

毎月第3木曜日勝どき区民館一階デイルームで開催しているR65月島カフェの開催もままになりません。もう7月こそは開催できると思っていたのに!

12時半からのスマホ・パソコン勉強会も20人の参加申し込みがあったのに一回しか、それも6人の参加者でしか、開催できていません。もっぱらグループLINEでの情報交換が主になっています。



雷雨のLINE実況放送

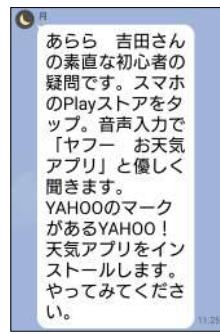
最近のグループLINEでのやり取りです。あのものすごい雷雨があった日のやり取りです。吉田尚さんから最初の「ゴロゴロと鳴りました」から始まりました。まず反応したのは豊洲に外出中のかとさちさんです。使っているYAHOOお天気アプリから雨雲レーダー情報をスクリーンショット(スクショと呼ばれています)で投稿しました。

吉田さんからは「レーダー



では音声入力でアプリを入手しましょう。杉本さん「ありがとうございます。早速ヤフー天気アプリ入れました」そこに勝どきにお住まいの稲川さんから、自宅のマンション窓からの大雨画像が送られてきます。あら吉田さんからも稲妻の動画が、かとさちさんからもヒヨウが降る動画

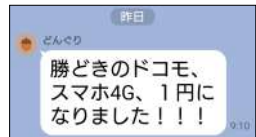
凶はどのように見たのですか」編集長からは「私もYAHOOお天気アプリを使っていますよ。雨雲を見ています」宇田川さんからは「私はウェザーニューズアプリも両方使っています、比較しています」吉田さん「どうやって手に入れるのですか？」



の多々羅さんは地域の20人のシニアの仲間の会に参加していました。残念

が送られてきました。かときさんが無事自転車月島に帰ったことの報告でこの実況放送は終了しました。こんな具合でLINEのグループメッセージ機能を活用して情報交換です。こうやってシニアの方々が(かとさちさんは中年です)遊びながらLINEの操作を学んでいくことが必要ですね。まずは使うことからはじめないとだめです。その仲間作りも必要なのです。

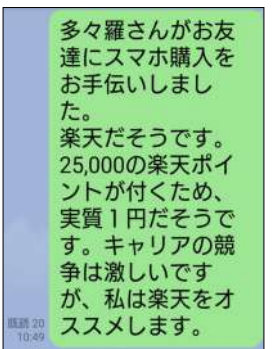
1円スマホの話題から
今度のLINEグループスマホの話題は稲川さんからが最初の話題提供です。これに編集長がすぐ反応しました。皆さん暇なのでしようか。すぐに既読が付いて、即返信コメントが寄せられます。このやり取り



は他のグループメンバーも見ることが出来ます。コメントはしなくても見るだけでもいいのです。実際、稲川さん・吉田さん・佐久間の昔話給食の話は3人だけで盛り上がっていました。

ボランテニアサポーターの多々羅さんは地域の20人のシニアの仲間の会に参加していました。残念

高齢者に国が「スマホ講習会」
6月から開始することが発表されています。発表されたが中央区の実施計画は具体化していません。先日もお手伝いしているバリーシティ自治会にスマホの講習会実施の案内が区役所の地域振興課からアプロ



多々羅さんから朝日新聞の切り抜きを送ってもらいました。一つは88歳になる作家の辻真さんの記事です。要約すると、「パソコンを使って仕事を、最初は親指シフトの入力だった。新しい製品が出るたびにまた最初から覚えなくてはならない。スマホも小さくて見えない。私達がデジタルに習熟しなければならぬなら、もっとデジタル庁もどう便利になるのかの説明を怠ってはいけない」



2つ目はパソコン教師の原さんの記事です。「高齢者が孤立する恐れ 公助が必要 高齢者が個々に対応するには限界、気軽に問い合わせられる環境が必要。自治体相談口やパソコン教室の充実などに公的援助が必要」3つ目はドコモスマホ教室の義手さんの記事です。「デジタル格差の解消に向けた事業に応募したが、スマホで豊かなデジタル社会を実感してもらおうことが必要」と民間企業の取り組みも始まりました。まずは回りの高齢者の支援からはじめませんか。R65のメンバーも一つひとつ積み重ねて、LINEのビデオ通話から、オンライン最強ソフトのZOOMの習得に進んでいます。ぜひボランテニアサポーターに参加いただけませんか。ご協力ください。